



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2020～2021 年度 RI のテーマ

Rotary Opens Opportunities

Rotary



会長 折原 正昭 幹事 野口美津夫

<http://www.sugito.club>

第2586回例会 2021年1月14日

1月(14日・21日・28日)休会になりました

地区からのお願い

国際ロータリー第 2770 地区

ガバナー 中里 公造

危機管理委員長 直前ガバナー 小林 操

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。さて、昨年 11 月初旬より、新型コロナウイルス感染症の第3波ともいべき感染拡大が、猛威を振るっています。東京都では昨日、新たに新型コロナウイルスの感染者が 2,447 人で過去最多となり、埼玉県内でも昨日、新たに 460 人の感染者が確認され、3 日連続で過去最多を更新するという事態になっています。専門家からは「埼玉、千葉、東京、神奈川の首都圏では、既にステージ 4(爆発的感染拡大)に相当する対策が必要な段階に達している」と指摘されました。そのため日本政府は7日、埼玉県を含む東京など首都圏の1都3県に、緊急事態宣言が発令されました。

2770 地区内会員の皆様にも、今回の緊急事態宣言発令に伴い、ご家族、従業員の皆さんを含め、自らの命を守る行動を常に心がけてほしいと思います。最近の状況では自身がどんなに注意を払っても感染のリスクは非常に高くなっています。ロータリアンとして範たる行動を心掛けましょう。

そこで、提案です。緊急事態宣言が解除されるまでは、下記の 1-3 にご協力ください

1. ロータリー活動の自粛と共にリアルでの接触は控える。
2. 例会はオンライン例会を活用。もしくは、
3. 休会にする。(クラブ定款第 7 条 第 1 節「例会」(d)-(3)を活用)
4. その他 クラブ毎の対応

埼玉県内で最初の新型コロナウイルス感染者が確認されてから10カ月余りで、県の累計感染者数は1万3千人を超えました。埼玉は人口10万人当たりの医師、看護

師数が全国最少の医療過疎地。県医師会会長は「予測不能のコロナ禍へ対応するためには、最終的に医療従事者の使命感に頼らざるを得ない」と語っています。

ある医師は「先が見えず疲れているが、チームの雰囲気は明るく保っている」と悲壮感は見せず、「『全ての人を助けたい』という思いでしっかり患者を診るので、(県民は)感染を広げない倫理観を持って」と訴えています。「軽症の孫から感染した高齢者が亡くなり、一家で後悔を抱える悲惨な例もある。少しでもリスクを減らすため、責任ある行動、そしてすぐできる対策に取り組んで」と呼び掛けました。(1月8日)

会長あいさつ

折原会長

皆様こんにちは。会長の折原です。政府の緊急事態宣言の発令を受けて1月の例会については休会とさせていただきます。急な変更となりましたこととお詫び申し上げます。

本件については 2770 地区から各クラブに対して接触(例会)を控え、休会又はオンラインでの対応の依頼があったことと、第 6 グループ内の各クラブの状況を鑑みて休会とさせていただきます。会員の皆様には温かいご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

結びにあたり、会員皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。会長の挨拶とさせていただきます。

幹事報告(Facebookより)

野口幹事

先日の地区大会の大抽選会において、1等賞が当たりました。

こちらが賞品の超高級肉です。会員の皆様と味わいたいところでしたが、例会の休会を受け、食べた感想のみを後日皆様に報告したいと思います。



例会日: 木曜日 12:30~13:30 例会場: 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

事務所: 杉戸町杉戸 2-15-21 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

TEL&FAX 0480-31-0031